

令和8年度 第1回 大野ヶ原小学校学校評価アンケート集計結果

評価について・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない

達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
1	教	保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	2	1	1	0	0	81%	92%
	児	いろいろな体験活動を地域の方や家の人といっしょに学習している	2	5	2	0	0	75%	
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	5	0	0	0	0	100%	
	分析改善	各学年、学団で、保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。児童の達成率は低いが、教職員、保護者の達成率が80%を超えていることはよい。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努め、充実した教育活動にしていきたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	0	4	0	0	0	75%	
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	6	2	1	0	0	89%	94%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	3	2	0	0	0	90%	100%
	分析改善	前回と比べると児童の達成率が5ポイント、保護者10ポイント減少している。減少しているものの、概ね90%に近く、高評価である。水泳や陸上、学習と児童にとって大変なことも多いが、100%に近づくよう、今後も児童の様子をしっかりと把握して教科指導や雰囲気づくりに努めたい。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	0	3	0	0	0	75%	100%
	児	自分から進んで授業に取り組んでいる	1	2	6	0	0	61%	94%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	2	3	0	0	0	85%	100%
	分析改善	前回に比べると全体的に下がった。教職員が25ポイント、児童が33ポイント、保護者が17ポイント減少した。1人1台端末を有効に活用し、ICT機器や教材研究を行い、児童同士で学び合いができるよう授業に取り入れたり、振り返りをしたりしている。より一層、児童一人一人に分かる楽しさを味わわせ、自己肯定感を高めていきたい。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	1	2	0	0	0	83%	88%
	児	自分が決めた時間、家庭学習をしている	2	3	1	3	0	61%	94%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	4	1	0	0	0	95%	100%
	分析改善	いろいろな調べものを通して、家庭学習や生活習慣の定着について指導している。児童の調査の「C・D」の評価は、謙虚に反省した結果ではないかと考える。今後は、学校での取組や「生活調べ」の結果を保護者に伝え、家庭と学校が協力合って改善していきたい。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	0	2	1	0	0	67%	88%
	児	読書をたくさんしている	0	6	2	1	0	64%	
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	1	3	1	0	0	75%	
	分析改善	読書の時間の設定、児童へ積極的に声掛けを行っている。児童は、読む習慣についてはあるものの積極的に読書ができていない評価となっている。本を手に取りやすい図書室づくり、本も増やしている。学校や家庭でもしっかりと読書をするよう声掛けをしていく。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	0	2	1	0	0	67%	88%
	児	先生の授業はよくわかる	5	3	0	1	0	83%	97%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	3	2	0	0	0	90%	100%
	分析改善	前回に比べ達成率が減少している。特に教職員の評価が21ポイントも低くなっている。日頃の授業や研究授業、参観日等の授業の様子では、視覚的な教材提示、個に応じたプリントやワークシートを活用し「わかる授業」を実践している。今後も教材研究に取り組み、児童一人一人に応じた指導に当たりたい。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	1	3	0	0	0	81%	75%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	6	2	1	0	0	89%	100%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	2	3	0	0	0	85%	100%
	分析改善	教職員の達成率が6ポイント増加した。しかし、児童、保護者の達成率は減少している。児童の中には「C」の評価をしている。児童との関わりについては真摯に受け止め、個に向かう時間の確保に努めたい。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	3	1	0	0	0	94%	100%
	児	いじめのない学校だと感じる	6	1	2	0	0	86%	84%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	4	0	1	0	0	90%	59%
	分析改善	毎月の「なかよしアンケート」や休み時間の児童との関わりなどを通して、いじめの早期発見・早期対応に努めている。アンケートや普段の様子から、現時点ではいじめと思われる事案や辛い思いをしている児童はいないと思われる。児童も保護者も達成率が増加しており、今後も「C」と回答している児童には、個人的に話を聞き、いじめと思われる内容はない。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、すぐに対応する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。							

項目 番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	2	2	0	0	0	88%	100%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	5	3	1	0	0	86%	84%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	2	3	0	0	0	85%	59%
	分析 改善	児童、保護者の達成率が高くなった。教職員一人一人が意識して取り組んだ成果と考える。児童も思いやりを持って仲良く生活できている。保護者の達成率の大幅なポイント増加は、よい傾向である。今後は、学校の取組を積極的に発信し、全保護者の評価が「A」になるよう努めたい。教職員の意識も高評価になるよう努めたい。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	1	2	0	0	0	83%	100%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	6	2	0	1	0	86%	
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	3	2	0	0	0	90%	
	分析 改善	道徳科を中心として教育活動全体においても、思いやりや互いを認め合う指導が十分にできている。また、日頃の教材研究や授業展開で児童同士での練り合いが十分に行えている。しかし、教職員の評価は、控えめな評価と捉えている。児童、保護者の達成率が、今後もこう評価となるよう道徳科に力を入れるとともに、教育活動全体の活動や様子を保護者に発信して家庭と共有していく。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができている	0	4	0	0	0	75%	92%
	児	心配なことや悩みがあるとき、家の人に相談できる	0	3	6	0	0	58%	100%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができている	4	1	0	0	0	95%	100%
	分析 改善	全体に評価が減少している。教職員の評価に「A」が付けていないことが問題であり、児童の評価は、教職員の評価の表れである。教職員で話し合い、改善を図る。今後は、積極的に児童、保護者との関わり、相談しやすい雰囲気づくりに努めてく。また、学級担任だけでなく、教職員の誰にでも相談できる雰囲気づくりや周りの大人に相談できる、相談するよう助言していく。							
12	教	豊かな体験や交流活動を通して、ふるさとを愛する児童の育成に努めた	1	2	1	0	0	75%	92%
	児	ふるさとのよさを知り、大野ヶ原が大好きだ	6	1	2	0	0	86%	
	保	学校は、体験活動や交流活動を通してふるさとを誇りに思う児童の育成に取り組んでいる	5	0	0	0	0	100%	
	分析 改善	保護者の肯定率は100%、児童も86%と非常に高い。体験活動をとおして愛郷心の育成は着実に成果を上げている。今後も高い評価を維持しつつ、教職員が感じている活動の深まりや指導法、改善点を校内で協議し、体験学習の質をさらに高めていく。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	2	2	0	0	0	88%	
	児	自分の命を大切にし、安全に気を付けて生活している	8	0	1	0	0	94%	
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができている	5	0	0	0	0	100%	
	分析 改善	児童の評価が90%以上と、安全や命の大切さを意識して生活できているおり、日頃の指導が行動にしっかり定着している。また、保護者も高評価しており、学校の安全・生命尊重に関する指導に対して非常に強い信頼を寄せている。教職員も高評価ではある。現状に満足せず、さらなる指導徹底を図り、日常の安全点検などを積極的に行うとともに、命の大切さについて、児童とともに考える時間を設け、実践へとつなげていきたい。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	0	4	0	0	0	75%	92%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めた	2	2	0	0	0	88%	100%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めた	0	2	2	0	0	63%	

自由記述

保護者	少人数だからこそ、個々に合わせた指導をしてもらえていると思います。生活習慣の指導にも力を入れてもらい助かります。ただ、それを身に付けるために、まず家庭からだと思うので自分も頑張ろうと思います。	児童一人一人を大切にしたい取組ができおり、保護者の方にも御理解いただいていることに感謝しています。今後も個に応じた指導をしていきたい。
	ホームページやお便りで子どもの頑張っている様子がよくわかるようになりました。ありがとうございます。	保護者に児童の様子がしっかりと伝わっており、教職員の取組ができている。今後も学校の様子が分かるよう努めていきたい。